

両毛システムズ RSガスシステムセミナー 2020 ONLINE

両毛システムズは11月27日、「第18回RSガスシステムセミナー2020 ONLINE」を開催した。当初は、若松ガスの協力を得て、福島県会津若松市での開催を予定していたが、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、オンラインでの開催に変更した。59事業者、105人の申し込みがあった。本特集では、若松ガスの新ブランド立ち上げをテーマにした講演、両毛システムズ担当者による、デジタルトランスフォーメーション(DX)への対応、モバイルアプリなど同社の最新システムをテーマにした講演を紹介する。

新ブランド「eneyou」の立ち上げ

若松ガス経営企画課

安部元氏



若松ガスは20年に新ブランド「eneyou」を立ち上げた。これまで「若松ガス」ブランドは、愛称「若松」を冠して地域には浸透していた。この度、新たにブランド「eneyou」を掲げた。もともとあなたのエネルギーに「energy to you」の略語となっており、人の暮らしに寄り添い、ともに未来に向かって歩んでいくという思いを込めている。

もっと、あなたのエネルギーに



若松ガス株式会社

新ブランド「eneyou」のロゴ

これまでの鳳凰をモチーフとしたロゴマークを一新し、シンボルを会津磐梯山へと変えた。イメージカラーは、地域に根差した会社であることを強く印象付けるため、地元会津にゆかりのある赤を使用している。他社でもブランド名と社名を併記する例はあり、当社も社名「若松ガス」のまま、前面に「eneyou」を出す方針だ。この新しいブランドを知ってもらうため、当社は今年1月から、福島県内でテレビCMを放映している。CMの映像は地元の人に出演してもらった。伝えるメッセージは「シンプルに「若松ガス」は「エネルギー」のみとし、若松ガスが新しくなった、変わった

刷新することだ。これは最終的な目的だが、新ブランド立ち上げの直接的な目的は、その第一歩となる社員の意識改革だ。意識改革の1点目は、地域の力を入れたという固定観念を捨て、エリア、ガスにこだわらず、街のエシールカンパニーの社員として、さまざまなサービスを提供するが自分たちの仕事だと認識すること。2点目は、顧客の要望に応えるだけでなく、こちらから提案することだ。これは最終的な目的だが、新ブランド立ち上げの直接的な目的は、その第一歩となる社員の意識改革だ。意識改革の1点目は、地域の力を入れたという固定観念を捨て、エリア、ガスにこだわらず、街のエシールカンパニーの社員として、さまざまなサービスを提供するが自分たちの仕事だと認識すること。2点目は、顧客の要望に応えるだけでなく、こちらから提案することだ。

GIOS×BIツール、現場で始めるDX

両毛システムズ 社会事業ビジネス推進課

劉芳氏



「GIOS Cockpit」は、日々、基幹システムGIOSに蓄積されているデータをさまざまな角度から可視化し、業務改善や経営の意思決定につなげることを目指すためのシステムである。需要家からの電話受付の例を挙げると、情報タッシュボードと呼ぶ画面で、GIOSに蓄積される受付データを日々、月次、緊急受付情報についてくりくりと集約し、受付業務状況を見える化する。数字だけでなく各種グラフやデータを表現することで、業務全体の傾向をより直感的に捉えられることが大きな特徴である。

り、別途進捗確認用の資料を作ったり、それらを関係者へ連絡・報告する上で実施している。今後、クラウドサービスであるGIOS Cockpitを利用して、業務全体の進捗具合を情報タッシュボードで確認することで、状況の把握がより早く、広範囲にできる。社外でもネット環境があれば、いつでも情報タッシュボードの状況を確認できる。また、モニター画面でタクトに情報を確認できることで、会議においては、ペーパーレス化の促進にもつながる。GIOS Cockpitの利用価値は情報伝わるスピードと環境づくりだ。データ活用の構成要素の一例として①収集、②加工、③蓄積、

進化するGIOSモバイルアプリ

両毛システムズ エネルギーソリューション第1課

谷鹿みずほ氏



社員の業務ツールとしてのスマホの活用が期待されるなか、業務改革の一つとして推進したいのが業務のモバイル化だ。ガス事業者では、受付業務は毎日発生する業務だ。受付情報を登録し、予定された日に作業を実施するまでの業務。これをモバイル

化し、会社に居ることなく、作業結果を基幹システムに記録できれば、業務改革の大きな一歩になるのではないか。現在、ガス事業者は、受付業務として、まず受付伝票を発行する。作業顧客先で作業を実施して会社に戻る。帰社後、作業者が伝票を入力し、入力者は伝票を見ながら社内パソコンに作業内容を登録する。基本的にはこの流れで運用されているかと思う。

大きなポイントがある。まずは負荷軽減の観点で、作業伝票発行を止め、ペーパーレスを進めることだ。次に移動のリソースとして、朝会社から伝票を持ち出し、作業した後、夕方会社に戻る前に、事故や新型ウイルスなどの感染リスクがある。そして、伝票の印刷された情報では変更があった場合、すばやく対応できない。最新情報を手元にあるかどうかは、効率化や顧客の満足度に大きく影響する。この自由化の中で、大きな意味を持つという。現状の運用では、業務改革の観点での課題と、見直すべ

適格請求書等保存方式への取り組み

両毛システムズ エネルギーソリューション第2課

塚本 絹代氏



2023年より適格請求書等保存方式が導入される。また、直近では総額表示義務の特例廃止もあり、概要と影響範囲について説明する。21年3月に総額表示義務の特例(期間限定で、商品・サービス)の価格に消費税を含む総額表示をなくすという措置が廃止になる。これにより、取引価格を表示する際、消費税を含めた総額での表示が義務付けられる。さらに23年10月1日から適格請求書等保存方式が導入されることにより、取引相手の求めに応じて、

購入につながるようになった。売れ行きは想定以上となり、新たな取り組みで結果を出せたことは、社員の意識改革にも良い影響を与えられたのではないかと考えている。「エネルギー販売事業からソリューション提供企業へ」これがeneyouというブランドの先に当社が目指す姿だ。皆さまからの注目が当社の改革の原動力となるので、ぜひ今後も当社の取り組みに注目いただければと思う。

導入について説明する。課税事業者である取引相手に提出する請求書の形式については同年10月1日を境に、区分記載請求書等保存方式(8%)と10%の2つの消費税率に対応するための請求書保存方式から適格請求書等保存方式に切り替える必要がある。切り替える際には、新たに請求書発行事業者の登録番号、適用税率などを追加記載する必要がある。

システム改修の際は、適格請求書等保存方式の対応時に全体を考慮した対応をすることが効果的だと考えている。適格請求書等保存方式の対応の請求書はガス事業者毎の対応となるので、要件定義から開発、テストの作業を実施する必要がある。導入までの期間を有するので、スムーズに作業を進めていけるよう、準備をお願いしたい。

そこで、モバイル業務として提供実績のあるGIOSWEBを紹介する。すでに10社余りの事業者で利用実績がある。OS非依存のウェブシステムを採用し、マルチプラットフォーム、マルチデバイス対応を実現した。現時点でアンドロイド端末、アイフォーン、タブレットで動作確認済みだ。ウェブシステムのため、一般的なデータ通信デバイスや装着したモバイルパソコンからのアクセスが可能だ。提供している機能の一つ目は受付作業状況を確認する機能で、ログイン担当者の当日の作業予定一覧を確認できる。未完了、完了の作業一覧を切り替え、一目で状況が分かるようになっている。

二つ目はお客さま情報だ。メールアドレス、保安、メモ、受付履歴、実績などのほか、フリー

このGIOSWEBの機能に閉栓・開栓などの異動変更業務をセットにしたものをGIOSモバイルとして用意した。基幹システムへの開栓・閉栓の登録が楽になる。モバイル画面の入力制御により登録ミスが減る。閉栓では手計算での料金計算ミスもなくなるメリットがある。

またGIOSのモバイル機能を拡大した。デバイスに備えられた機能を利用して業務の幅をさらに広げた。フルスクリーンで接続したプリンターから印刷する、カメラを起動して画像保存する、QRコードを読み取り識別するなど、さまざまなシーンに応じた機能活用できる。これからの進化を続け、デバイス機能を利用して業務を変革するモバイルアプリの可能性を追求する。

総合エネルギー事業経営総合支援ソリューション

サステナブル時代に対応した総合CISにより、顧客満足度の向上と安全・安定・安心をITで支援いたします。



「感謝」、そして「未来」へ おかげさまで50周年 株式会社 両毛システムズ

GIOS製品コンセプト
都市ガス・簡易ガス・LPガス・電力・その他のお客さまを一元管理した統合CISを標準装備
最前線のお客さま対応から、エネルギー事業経営の意思決定支援までを総合ソリューション
100社を超えるガス事業者さまへの導入実績から得たノウハウをフル活用し、エネルギー事業者さまのあらゆる経営課題解決のためのご支援と戦略的経営情報システムの構築をご支援いたします。
エネぼたる
「エネぼたる」は、インターネットで見る検針票です。料金や使用量などガスと電力両方の使用状況のお知らせを「見える化」できる顧客ポータルサイト構築支援クラウドサービスです。
指定フォーマットでデータをアップロードすれば「エネぼたる」に表示できますので、他社製CISを利用している事業者さまでも利用可能です。(スモール&クイック・スタート対応)
ペーパーレス型決済サービスと連携できるようになりました。お客さまのスマートフォンからも決済可能となり、多様な支払方法に対応することが可能です。払込票の郵送業務を無くし、ペーパーレス化により業務負担と環境負担を軽減いたします。
GIOS-WEB
Webクラウド業務支援システム
モバイル端末から受付作業状況の確認、受付作業報告、お客さま情報の照会、器具在庫情報の検索が利用可能です。オプションのモバイルアプリは、開栓や閉栓等の異動入力業務にも対応可能です。
その場で情報の閲覧や作業報告が行えますので、現場と会社間の情報共有をスムーズに行えます。受付業務に用いる作業伝票を廃止することも出来ます。ペーパーレス化により事業活動の環境負担を軽減いたします。
エネルギーソリューション部 〒376-8502 群馬県桐生市広沢町3丁目4025番地 TEL 0277-53-3128 URL: https://www.ryomo.co.jp/